

報道関係者 各位

令和6年3月27日
宗像市 環境課
脱炭素社会推進課



宗像市

学校給食の廃食油を燃料へリサイクル ごみ収集車でバイオディーゼル燃料を活用

宗像市では2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、市営バスのEV化や公用車のハイブリッド車への切替えなどにより、「移動時の温室効果ガス削減」「再生可能エネルギーの利用促進」を進めています。

その一環として、本日から、ごみ収集車の燃料を植物由来の油から生成されたバイオディーゼル燃料に変更します。

植物は成長時に二酸化炭素を吸収しており、車から排出されても相殺されるため、バイオディーゼル燃料は地球にやさしく、化石燃料（軽油）の代替燃料とし注目されています。今回使用する燃料は、市内小中学校の給食調理や一般家庭で回収した廃食油を原料として製造しています。化石燃料である軽油と比較すると、二酸化炭素を年間約1,500kg削減できる見込みです。

本日はバイオディーゼル燃料給油のデモンストレーションをおこないます。

<バイオディーゼル燃料使用車両>

- ・台数 1台
- ・主な使用用途 宗像市大島でのごみ収集・市内金物収集
- ・年間稼働日 129日（令和4年度実績）
- ・年間走行距離 約600km



<使用車両>

<廃食油について>

- ・年間回収量
19,710L（学校6,530L、一般家庭7,180L）
- ・バイオディーゼル燃料想定使用量
約500L
- ※回収した残りは、回収事業者の車両等に使用



<資源回収された廃食油>

【問い合わせ先】

宗像市 環境課 担当:木寺 TEL:0940-36-9092